

第2分科会報告「九州の遙拝遺構と熊本県の現状」

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 高谷 和生

1 遙拝（ようはい）

「遙拝」とは、遠く隔たった所から、神仏などを遙かに
に拝む所作である。特に、戦前からアジア・太平洋戦争期
間中を通し、日本内地や外地、所謂大東亜共栄圏内におい
て、宮城（皇居）に向かって敬礼、拝礼する行為を、「宮
城・皇居遙拝」と称していた。宮城遙拝は、日本国民が天
皇への忠誠を誓う行為の一つとされ、奉安殿内の御真影へ
の敬礼とともに、皇室への崇拝を促し、戦意高揚を図る目
的で盛んに行われていた。現在でも伊勢神宮等の神仏のみならず、自然物である富士山等の
「遙拝」も行われている。福岡県宗像市大島北端側には、はるか50km離れた沖合の世界遺産
「沖ノ島（宗像大社沖津宮）」を遙拝する「沖津宮遙拝所・社殿」が設置されている。



①大島北側の沖津宮遙拝所（宗像市）

2 熊本市北区旧熊本陸軍幼年学校の遙施遺構

□陸軍幼年学校 1896年（明治29年）5月、明治政
府は国軍に優秀な将校を育成する必要上、幼年時代よ
り特別教育を行うため、地方幼年学校を東京・仙台・
名古屋・大阪・広島・熊本に設立した。熊本陸軍幼年
学校は、1897年9月熊本城内棒庵坂上（現監物台樹木
園）に開校した。入校者は13歳から16歳未満で、全
寮制による生活指導を行い、軍人精神（責任感、判
断力、統帥指揮力）の鍛錬が目標にあげられ、少人
数の家塾的教育が行われた。城内時代で29期まで、清水台時代で43期から49期までの計2,828
人を輩出した。本学の出身者として著名な軍人は、梅津美治朗（第1期）、牛島満（第5
期）、牟田口廉也（第7期）、武藤章（第10期）、長勇（第13期）等である。



②熊本幼年学校「右脇門」オルソ図
③右脇門・擁壁の現況

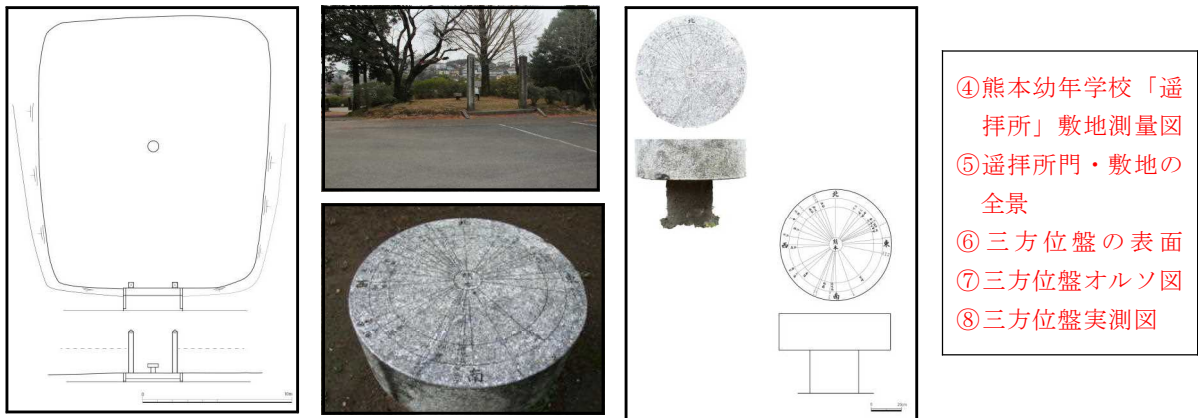
□清水台での熊本陸軍幼年学校

移転された通称「正門」は「脇門」 熊本市北区清水町の陸上自衛隊北熊本駐屯地内旧防
衛館の園庭には、通称「正門・コンクリート製擁壁」が移転されている。また、門には「熊
本陸軍幼年学校」と刻まれた大理石製標札が埋め込まれている。ただ当時写真2枚と実測図
を対比検証したところ、これまで通称正門とされる門は、旧「脇門」であると判断された。
脇門は全高2.35m、断面方形65cmである。

遙拝所と三方位盤 学校敷地の東側、東門に近接し凝灰岩製全高2.95m門柱二本を有する
「遙拝所」と呼ばれる区画が現存している。学校生徒が宮城を拝礼し、軍人勅諭を拝読する
場所であり、中央には遙拝の要となる径73cm大理石製「三方位盤」が残されている。中心円
（第一周）に熊本を、第二周には方位直線、第三周には北から右回りで山口・旭川・広島・

仙臺・京都・大分・大阪・東京・高知・宮崎・鹿児島・那覇・長崎・大連等の主要地名が、最外周である第四周には四方位のほかダッチハーバー・シンガポール・ハルピン等の当時の外地や主要地名が刻字されている。ただ、伊勢神宮は刻字されていない。

また、当地には学校時代の戦争遺構として東門、雄健神社、天覧台等も現存している。



- ④熊本幼年学校「遥拝所」敷地測量図
- ⑤遥拝所門・敷地の全景
- ⑥三方位盤の表面
- ⑦三方位盤オルソ図
- ⑧三方位盤実測図

3 福岡県久留米市の陸軍歩兵聯隊の遥拝台遺構

□陸軍墓地の全容 久留米市野中町の陸軍墓地は、昭和14（1939）年7月に着手し、2年9か月の歳月と経費25万円、延11万2千人の勤労奉仕によって同17年4月10日に竣工式及び鎮靈式が行われた。敷地は約71,000㎡あり、忠霊塔、遥拝台、野外講堂、陸軍橋、放生池、臨川台、参道などの各遺構が残り、現在は大半が久留米競輪場の敷地となっている。この墓地建設は陸軍が主導し、久留米連隊区司令部の所轄範囲である久留米市をはじめ、筑後二市六郡及び佐賀県佐賀市、小城郡など広域の市町村が、資金や労働力を提供し建設に深く関わった。

□遥拝台 赤煉瓦造（ドイツ積みを基本とし一部イギリス積み）で裾広がり円柱状をなし、高さ4.8m、底部径6.0m、屋上径5.8m。外面の曲線が美しく、内部の螺旋階段を登ると屋上中央に遥拝塔が設置されている。西面した方形の花崗岩標柱に「宮城遥拝（側面には皇紀二百六十年）」のてん書字体で刻まれており、この場所から東方（皇居）に向け遥拝したとされる。

4 熊本県の現状

文化財への指定登録等の状況。菊池飛行場ミュージアム・荒尾二造平和資料館の現状を紹介。「山の中の海軍の町にしき ひみつ基地ミュージアム」は一般社団法人錦まち観光協会が運営し、九三式中間練習機実物大模型機を新たに展示。県内戦争遺跡等を網羅した『くまもとの戦争遺産 ～戦後75年平和を祈って』が2020年に刊行。



- ⑨遥拝台全景
- ⑩遥拝台内部らせん階段
- ⑪標柱「宮城遥拝」
- ⑫陸軍墓地配置図